

	部(支所)長	課長	担当
回覧			

## 灰色かび病の防除について

お世話になっております。明るい日差しに春の気配が少しばかりか感じられます。

皆様いかがお過ごしでしょうか？

今回は近年、園芸作物において多発生して被害が問題である灰色かび病について焦点を当て、質問形式で掲載してみました。ご活用していただければ幸いです。



### Q1. 灰色かび病とは？

灰色かび病とは野菜、果樹などの多くの作物の蕾、花、果実、葉、茎等地上の大部分に発生する**主要病害**となっています。

やや冷涼な多湿の環境で発生しやすい病害のためこれからの天候、気温、湿度が病害にとって発生が好適条件となります。(3月、4月の降雨や曇天が続くと発生しやすい)

県内のイチゴ(ゆめのか)にとっては**加温開始前後の11月下旬頃に発生が見られ、加温終了の3月頃から再増加**します。特に年内から発生した圃場では激発しやすい傾向のある病害となっています。

### Q2. どんな作物に被害が多い？

長崎県内の園芸作物でトマト、ミニトマト、タマネギ、果樹類・・・etc. このように多くの作物の病害の発生が見られますが今回はイチゴについて取り上げました。

イチゴの発生では特に県内で多くの面積が栽培されている「ゆめのか」品種が灰色かび病を発生しやすい品種特性であります。

⇒「ゆめのか」は、「さちのか」に比べ、花卉が落ちにくいこと、茎葉が繁茂して株周辺の湿度が上がりやすくなること、換気が不十分な状態になると果実表面がぬれやすくなることから**灰色かび病が発生しやすい傾向**にあります。

特に平成28年度では**4月上旬**の発生が甚大でありました。

私たちJAグループは“無登録農薬”は扱いません！

### Q3. どのような被害が出るの？

主に果実に発生し、葉、葉柄、ガクにも生じます。果実では水がしみ垂れた淡褐色の病斑ができ、病斑が拡大するとそこが枯れ、やがて腐敗して灰褐色のカビに覆われます。伝染経路としては病原菌が被害植物とともに菌糸・分生孢子、菌核の形で越冬します。**下葉などの枯死した部分に分生孢子が飛散・侵入・増殖しこれが有力な伝染原**となります。



左の写真は淡褐色の病斑が  
でていて、右の写真は病斑が  
進行、腐敗して灰褐色のカビ  
に覆われているね！

### Q4. 灰色かび病を防ぐには？

3月上中旬頃の温湿度の管理については3月20日前後まで厳寒期の温度管理とします。3月20日前後、夜温が8℃以上になる頃を目安にハウスは全面開放します。(妻面も開放できるようにしておく)特にこの時期の加温機が稼働しない温度、特に**曇天日照不足時には灰色かび病が発生しやすい**ので注意が必要です。この管理の前提がある中で温湿度の管理が灰色かび病の発生に大きく関係していきます。

灰色かび病の発生は個人差が大きく、ハウスの換気程度やかん水、(曇天時は葉からの蒸散が減り、開放時間が少なくなるため晴天日と同じ量をかん水するとハウス内に水が残り、湿度が高くなる)、薬剤散布の有無等で発生程度が違うことがあげられます。このことから平成28年度発生が甚大であった時期(曇天時、高温度時)に発生を防ぎ、品質を保てた人と保てなかった人との管理の違いをみてみましょう！

#### ●ハウスの開閉について

管理○⇒雨が降りこまないように、工夫して開放していた。また、少し雨が降りこんでも開放していた。風が強くても工夫して開放していた。

管理×⇒雨が降るので開放しなかった。風が強くて果実が擦れるのが嫌だったので開放しなかった。

#### ●かん水について

管理○⇒晴れた日は定期的にかん水するが、曇天時はかん水量、回数を減らす。

管理×⇒天候にかかわらず定期的にかん水する。

#### ●防除について

管理○⇒灰色かび病発生の有無に関わらず1カ月～2週間に1回は防除を行う。

管理×⇒まったく防除していない。発生がひどくなってから防除開始する。

#### ●循環扇について

管理○⇒曇雨天時は1日中稼働させる。

管理×⇒稼働させていないところが多い。

\*平成28年度4月上旬

(梅雨のような天候が続いた時の管理)



かん水管理、温湿度管理を天候に応じて  
こまめに対応して薬剤防除を行えば  
必ず灰色かび病は防除できます！

## Q5. 薬剤防除ってどうすればいいの？

～薬剤防除対策注意点について～

ゆめのかの灰色かび病を防除するうえで以下のことに注意しなければなりません。

- ・散布にあたっては噴圧や散布スピード・量などを調整しながら、重要な防除部位である花や果実を中心に丁寧に散布する
- ・本病原菌は耐性菌が発生しやすいため薬剤耐性が発達しないように同一の系統剤は避け、作用性の異なる効果の高い薬剤のローテーション防除を徹底する
- ・晴天日を逃さない防除、重要時期の防除、多発生時の追加防除の徹底
- ・多雨・曇天が続く場合にはくん煙剤を利用する

～主な薬剤ローテーション例～

散布日	系統	灰色かび防除薬剤	予防・治療	希釈倍率	追加防除等
10月25日	7	アフエットフロアブル	予(治)	2000倍	
11月5日	17	ピクシオDF	予・治	2000倍	臭気が残る場合は換気する
11月15日	9	フルピカフロアブル	予	2000倍	
11月25日	17	ダイマジン	予	2000倍	
12月25日	9	フルピカフロアブル	予	2000倍	多発時はくん煙剤等で追加防除
2月15日	2	スミレックス水和剤	予(治)	2000倍	
2月25日	7	カンタスドライフロアブル	予(治)	1000倍	浸透性のある展着剤等を入れない
3月15日	2	ロブラール500アクア	予(治)	1000倍	多発時はファンタジスタ(系統11)等で
3月25日	7	アフエットフロアブル	予(治)	2000倍	追加防除

～主な防除薬剤の特徴～

ジカルボキシイミド系（スミレックス水、ロブラール500アクア）

⇒FRACコード2 予防効果（治療効果）

ポリオキシシン、SDHI系（カンタスDF、アフエットF）

⇒FRACコード7 予防効果（治療効果）

アニリノピリミジン系（フルピカF）

⇒FRACコード9 予防効果

フェニルピロール系（セイビアフロアブル20）

⇒FRACコード12 予防効果

ベンジルカーバメート系QoI（ファンタジスタ顆水和）

⇒FRACコード11 予防効果、治療効果

SB1系（ピクシオDF）

⇒FRACコード17 予防効果、治療効果

剤の予防効果・治療効果などの特徴を理解して剤を使い分けましょう。剤の成分・系統を意識したうえでローテーション防除を行い、耐性菌の発達を回避しましょう！



おっかれさま

これで灰色かび病の勉強は終わりです。  
しっかりと管理をして品質・収量の向上を目指しましょう！

FRACコードとは農薬工業会が交差耐性菌の特性に従って、殺菌剤グループを数字と文字で分類しているものです。（表に記入している系統と同じ）

@別紙に灰色かび病に対しての夜間の加温処理についての防除試験事例について記載しております。

- \*参考資料：ゆめのか栽培マニュアル（長崎県いちご部会、JA全農ながさき）一部抜粋  
 ゆめのかにおける灰色かび病の防除（長崎県農産園芸課技術普及班）一部抜粋
- \*イラスト：ゆめずきんちゃん（JA全農ながさき）

\*3月号に記載されている内容はJA全農ながさきのホームページに掲載されています。  
 JA全農ながさきホームページURL：<http://www.ns.zennoh.or.jp>

### 「肥料農薬レポート2月発行274号訂正について」

2月に発行した274号の【新規県基準採用農薬】の内容でご記載があったため以下の通り訂正があります。

#### 【ネクスターフロアブル】

(×) 本剤は、「きゅうり」「メロン」「トマト」「ミニトマト」「なす」「はくさい」「レタス」のうどんこ病、葉かび病、すすかび病、黒斑病、すそ枯病、つる枯病などの幅広い病害の防除薬剤として新規採用される。

(○) 本剤は、「きゅうり」「メロン」「トマト」「ミニトマト」「なす」「はくさい」「レタス」のうどんこ病、葉かび病、すすかび病、黒斑病、すそ枯病、つる枯病、**白斑病**などの幅広い病害の防除薬剤として新規採用される。

#### 【ビーラム粒剤/ネマクリーン粒剤】

(×) 新規有効成分

(○) 従来の殺センチュウ剤と異なる新規の化学構造と作用性を示す（有効成分は殺菌剤として使用されているオルフィンフロアブルの成分）

\*このような誤りを記載してしまったことで誤解に至ったことがありましたら大変申し訳ありません。訂正をお願いいたします。

## JAグループ「安全防除運動」展開中

### ◎農産物の安全……今、消費者がもっとも願っている「食の安全」。

それは私たち生産者の願いでもあります。きちんとした農薬を選び、正しく使って、日誌に記録を残す。これを続けることが、消費者に信頼される農産物づくりにつながります。

- ・使うのは、もちろん登録農薬！
- ・安全使用・事故防止へ、ラベル確認を習慣に！
- ・使用後も、防除日誌で“安全証明”

### ◎環境の安全……土や水といった自然の恵みを利用して営まれている

農業。皆さんが守り続けてきた大切な田畑を、次の世代に残すためにも、自然環境に十分配慮した農薬散布を心がけましょう。

- ・必要量だけ希釈し、使い切る。空容器は適正処理を！
- ・水稲除草剤の散布後は、圃場外への流出防止策を！

### ◎農家の安全……軽装備による散布中の事故や子供の誤飲事故が増えています。

いくら周辺の環境に配慮しても自身の健康を害しては何にもなりませんし、周辺住民との信頼関係を築くためにも農薬の保管管理にはいっそう注意したいものです。

- ・暑さに負けるな。完全防備！
- ・使用後は“薬の戸締り”万全に！

散布するときは、  
マスク、メガネ、手袋を  
きちんと、つけましょう。



安全使用基準を守りましょう